



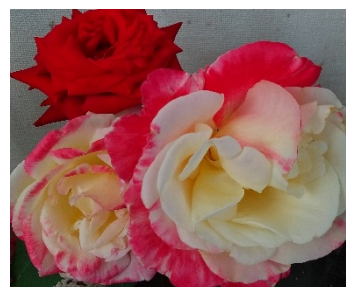
日本サーバス本部会報

2021.12 日本サーバス会長 N S

2021 年も年末を迎えようとしています。新型コロナに振り回される生活がもう 3 年目に突入しようとしています。依然としてなかなか旅行ができにくい状況ですが、会員の皆様はどんな 1 年を過ごされたでしょうか。いつもサーバスの活動にご協力いただきありがとうございます。

身近なことに楽しみを見つけることも増えてきました。私の場合は農業とガーデニングです。手をかける時間があつたので、いつもよりも収穫が多かったように思います。秋はイモ類の収穫がどっさり、サツマイモ、里芋、ジャガイモ、今は冬野菜の大根、白菜が出番を待っています。大豆の収穫も順調で今年はみそづくりも自家製大豆でできました。ガーデニングの面では周りに年中花を咲かせるという目標をどうにか達成中。バラに挑戦して、枯らせた苗もありましたが、6 月と 11 月はバラに囲まれる生活を満喫しました。

東アジア交流会をきっかけに台湾のサーバスメンバーの方たちとも親しくなり、1 月 23 日には第 2 回東アジア地区 zoom 交流会が予定され、日本の番になっています。テーマは SDGs で 3 人のプレゼンターの方たちと今練習中です。近づいたら詳細をご案内します。



今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 第 1 回東アジア zoom 交流会の感想
台湾の M さんに感謝・・・・・・・・・・・・・・ T R
第 1 回東アジア地区 zoom 交流会に参加して・・・・・・ U S
第 2 回の東アジア zoom 交流会のご案内
2. SDGs に関するエッセイ・・・・・・・・・・・・・・ NPO 法人『えこども』 I M
3. 国内の名所の紹介・・・・・・・・・・・・・・私の一押しの絶景 H Y
4. アメリカのコロナ事情 (バイリンガル)・・・・・・・・・・・・・・ O S
5. 国際サーバス会報(Vol.21 No.2 + 2021)の紹介・・・・・・・・・・・・・・ 国際部
6. あとがきにかえて・・・・・・・・・・・・・・ N S

1. 第 1 回東アジア zoom 交流会の感想

台湾の M さんに感謝

東海北陸支部 T R

第一回東アジア zoom 交流会にオンラインで参加しました。主催は台湾サーバスで、参加者はアジ

アのみならずヨーロッパ、イスラエル、オーストラリア、アフリカからもあり、サーバス仲間同士で旧知の友人に会った人達もいて、ハロー、ハローと和気あいあいムードで始まりました。その後、参加者のマイクはオフにされて、中国の茶道の様子のビデオが流れました。日本の茶道とはかなり違って広い部屋で、丈の低い机の上で厳かにお茶を入れ、隣に座るゲストに差し出すという一連の儀式のようなふるまいでした。その後、再度、参加者のマイクがオンになり、見たビデオに対する疑問や意見をチャット形式で募りました。皆、抱える文化が違うので、素朴な疑問もあり、興味深い質疑応答でした。その後オンライン上で小グループに振り分けられ、個別に感想などを話す時間が設けられました。私は関西の A さんという方で初対面でしたが、日本語で話せたので日本の茶道との違い、コロナ後の日本の茶道はどうあるべきかなど、ざっくばらんに楽しくお喋りができました。オンラインで繋いで国をまたいだ交流会をするのは新しく、これからのサーバス運営に一矢を投じるととても良い企画だと思いました。目新しい文化にふれて、各国の人達が違ったバックグラウンドで意見や感想を述べるのは興味深いですし、何より、クリック一つで見知らぬサーバスフレンドにも会い、顔を見て話すことができます。ある意味、画期的な企画でした。今回は初回ということで少し不手際もありましたがこの野心的な試みにチャレンジしてくださった台湾の M さんに大感謝です。

第 1 回東アジア地区 zoom 交流会に参加して

中国・四国支部

U S

10 月 30 日(土)午後 8 時～午後 10 時までの予定で、第一回東アジア zoom 交流会が開始されました。初めての企画でしたが、5 大陸、27 カ国、100 名の参加者がありました。会議は 15 分くらい遅れで、開始され、終了は午後 10 時 15 分過ぎでした。参加者は各国の民族衣装での参加も OK ということで、日本からは着物、台湾からはチャイナドレスの会員もいらっしゃいました。



まず、台湾の W さんの司会で、各国の「こんにちは」の挨拶を学びました。皆さん、とてもお元気で明るい笑顔で挨拶され、コロナ禍でもサーバスの強い絆を感じました。

続いて、S さんから、中国茶芸についての説明がありました。中国茶器について、受け皿は earth, 茶碗は human, 蓋は heaven を意味しているという説明に、池坊華道にも通じるものを感じました。その後、S さんの美しい中国茶芸が披露されました。日本の茶道とは随分異なり、むしろ、煎茶道に近い感じを受けました。その優雅なゆったりしたお茶の淹れ方に太極拳や気功の手の動きを連想しました。中国茶を淹れる動作はまるで水が流れる如く、気も流れ、その流れの中での精神や心の安定、鍛錬などに通じている。つまり、禅やヨガにも繋がる spiritual world を創り上げているのです。S さんの performance 終了後、全員での meditation time が設定され、実際、心が解きほぐされ、すっきりしました。

素晴らしい茶芸の後は、各グループでお茶に関するテーマで、いろいろ話し合いました。私のグループはドイツ会員の K さん、台湾会員の Y さん、日本会員の I さん、O さんと U の 5 名でした。話合いの中でいろいろ学ぶことができました。

K 会員：ベルリン在住。サーバス歴は 40 年くらい。お茶を飲む時はいつも砂糖を入れるそうです。

Y 会員：サーバス会員になって 3 年目とのことです。

台湾では、red tea の中で、卵を 1 時間ほどゆでた後、茶色に変色した殻をむいて、台湾 soy sauce をつけて食べるのだそうです。息子さんの大好物でいっぺんに 5 個くらい召し上がるそうです。コンビニの



左上：Yu さん(台湾ゆで卵)

セブンイレブンでも売っている人気のゆで卵らしいです。台湾を訪問したときには是非、トライしたいですね。Y さんが料理された茶色のゆで卵を見せてくださいましたので、皆様にも許可を頂き写真を撮らせて頂きました。25 分のグループトークはあっという間に終了しましたが、とても楽しく、互いの文化を学ぶことができ、大変有意義な時間でした。この小人数でのグループトーク設定を通して、世界のサーバス会員と触れ合い、サーバスが国際的な活動団体であることを身近に感じることができました。

今回の台湾サーバス会員の方々の細やかな運営のお陰で、中国茶の伝統文化に触れることができました。また、1 年半にもわたる長いコロナ禍で外国への旅が出来なくなり、何とか世界と繋がりたいと強く願うサーバス会員の多くの思いを叶えて頂きました。台湾サーバス会員の皆様へ、大きな拍手をお送りさせていただきます。多謝！

第2回東アジア zoom 交流会のご案内

日時：2022 年 1 月 23 日(日) 日本時間 20:00～22:00

テーマ：SDGs

プレゼンター：① H T Kimono Remake

② T S Balcony Gardening

③ A T With Japanese Honey Bees

参加申し込みについては支部長さんを通じて別途お知らせいたします。

2. SDGs に関するエッセイ

NPO 法人『えこども』認可外保育施設りす山の保育農園代表

I M

「SDGs の掲げるテーマの GOAL 4. 質の高い教育をみんなに Quality education に近い活動をしている！」と、N さんからお声かけ頂き、うれしくなって自分の活動を見つめてみました。

かつて名古屋のチベットと呼ばれた未開発の名古屋市守山区上志段味にて 12 年前から親子と環境の暮らしの接点を仕掛ける『えこども』という団体を主宰しています。

3 つのエコ（①笑顔の子ども ②絵を描く子ども ③エコな子育て）をテーマに当初月 1 回から親子連れで始まった活動が、三年前に NPO 法人えこどもとし、月曜日から金曜日まで 8:15～17:15 になり、現在認可外保育施設りす山の保育農園では、22 名の子どもをお預かりし、15 名のスタッフがいます。

私が創設した目的は、人間脳、質の高い教育＝新皮質のベースとなる、図太い動物脳、旧皮質＝大脳

辺縁系をまずは未就学期に育てる環境を用意する事でした。しかし、これほどスマホ、AI、コロナ対策の新しい生活様式により、急激な非接触の暮らしのデジタル化が整った今、もっともっと、動物脳を育てる環境は大人が意識しないと残せない、用意できない、創れないと言うことに直面しました。

私が昔話に出てくる、やまんばになるまで活動が続けたい、と皆さんに話すと、そこまで私は子どもたちのため、保育の為に命かけられません、といわれます。でも、実は子どもに見せる大人の姿こそ環境を整える指針になります。将来、『えことな』かな、高齢者福祉を考える視点へ応用したいのです。

GOAL3. すべての人に健康と福祉を Good health and well-being

美しく空気清浄機、温度管理された施設が無くても、小さな小屋と大きな森の近くで毎日換気よく、自然のクーラーの中、お日様の温かさに包まれ、裸足で野山を駆け回る老後は、今の子育て中の多忙な暮らしの親支援の結果としてついてくるはず。次の目標は、発達障害児の児童発達支援と母子家庭シェアハウスかな。

今日もこどもたちは裸足で駆け回り、木に登り、栗いが刺さり、鼻水垂らし、男女差なく立ちションし、うめえと好き嫌いなく飯を頂き、こてっと、ござを敷いただけの地べたでも眠る。食う、寝る、遊ぶ、人間の楽園はあなたのすぐそばにあります。

いつでもご見学、ご寄付頂けます。 ホームページ ecodomo.info

電話 08015564192 名古屋市守山区上志段味東谷 2110-158



サーバスでドイツから訪れた教育ボランティアのOさん



3. 国内の名所の紹介

私の一押しの絶景

北海道支部

H Y

7月上旬、下界では季節は夏ですが、大雪山連峰の主峰にて北海道最高峰の大雪山旭岳は、雪解け直後の早春。雪解けを待ちわびた高山植物たちが、我先にと花を咲かせ、期間限定でおとぎの国のような花畑が出現します。

私の大好きな場所を紹介しましょう。ロープウェイ姿見の駅を降り第1, 2, 3展望台を過ぎ、姿見の池の方向ではなく、裾合平方面に向かいます。10分ほど歩くと、足元から旭岳までを見通すことができる眺望のよい場所に着きます。汚れない空気をいっぱい吸い込みながら、旬の素敵な高山植物たちを堪能します。斜面をトラバースするように歩くので比較的楽な散策コースですし、姿見の池方面よりも訪れる人が少ないのでおすすめです。

この場所では、6月下旬には、ツツジ科のキバナシヤクナゲの大群落が現れ、その後、7月上旬には、紹介のツツジ科「エゾノツガザクラ」*Phyllodoce caerulea*（フイロドセ カエルニア）とバラ科のチングルマが同時期に開花します。旭岳を背景に圧倒的な数の花を咲かせ、訪れる人の心に言葉では表現できないほどの感動を与えてくれます。

「エゾノツガザクラ（蝦夷梅桜）」は、東北以北から北海道の高山帯のやや湿り気のある岩場などに群生する高山植物です。草丈は10～30センチ程度。なんと、常緑の低木！草ではなく樹木の仲間なのです。

そして、強風、大雪、極低温の劣悪な自然環境の大地で、水分の供給は雪解け水と朝霧だけ！そんな場所で激しく生き抜いている高山植物たち。なんという生命力でしょう。この時期に旭岳を訪れるたびに、植物たちから生きる勇気と元気をいただいています。

北海道の屋根で澄んだ極上の空気を胸いっぱい吸い込み、短い時間で生き抜く高山植物たちの生命力エネルギーに触れ、下山後には汚れない空気と水で育った旬の食材をいただければ笑顔にしかありません。



4. アメリカのコロナ事情（バイリンガル）

東海北陸支部 05

21年5月ごろ、アメリカのNYクイーンズに住む娘から、8月末の2週間、小学1年生の孫の子守りをしてほしいと頼まれた。アメリカの子供たちの夏休みは長く、6月末から9月半ばまで約3ヶ月。いろんなサマーキャンプに参加させても、8月の後半はどうしても子供一人になってしまうというのだ。

しかし、日本に帰国した時、羽田から公共交通機関が使えない、2週間自宅待機など帰国後の大変さ、いや、もし万が一コロナに感染したらと考えると、怯んでしまう。が、夫の「娘が困っている。帰りは、俺が羽田まで車で迎えに行行ってやるから」という言葉で、アメリカに行く決心をした。6歳の孫に会えるのは、今しかないし、また、コロナ禍のアメリカが見てみたいという好奇心もあったから。

7月初めまでに2回のワクチン接種を終え、アメリカに発つ前72時間以内にPCRの検査を受け、陰性の証明書を持って搭乗。NYに着くと、3日後にPCR検査、もちろんマイナス。3日間、家から出ずにいたが、これで、もう自由に外に出てもよいということだ。NYの娘の家の近くでは、通行人はほぼ100%マスクをしている。アメリカ人がマスクをしているのを見るのは初めてだ。ほとんどのレストランは、ソーシャルディスタンスを確保するために、道路に仮設の席を設けていた。ワクチンを打った人はレストランの中で、接種していない人は外のテント席で食事する。人数は4人と制限があるが、お酒を飲んでワイワイ、随分賑やかだ。

幹線道路のセンターライン寄りに緑色のレーン。何かと思えば、自転車、キックボード専用道で、かなりのスピードで走っていた。感染を恐れて地下鉄を敬遠し、自転車に乗る人が増えたからだそう。自転車を鎖で繋いでおく金具も20m〜30mおきくらいに設けられた。以前から作ってほしいという要望があったのだが、コロナで一気に増えたのだとか。近くの公園の中の道路は車を通行止にして、自転車専用道になっていた。8月末はロックダウンしてなかったが、ロックダウン中は、たくさんの人が、サイクリングを楽しんでいたそう。

アメリカでは、コロナでたくさんの人が犠牲になったにもかかわらず、日本のように鬱々とした雰囲気がない。レストランが道路に臨時の席を作ったり、自転車、キックボード専用のレーンを設けたり、車道を封鎖、サイクリングロードにするなど、コロナ禍に対応する策が講じられていた。パンデミックという危機の中、人々が暮らしやすいように環境を整えるフレキシブルな対応は、とてもいいと思った。

アメリカを発つ前にまたPCR検査。羽田に着くとまた検査。計4回のPCR検査、全てマイナスだった。無事に帰って来れてほっとした。帰りは200人くらい乗れる飛行機に乗客はたった8人、乗務員の方が多かったと思う。

家に着いて、自主隔離の2週間、思ったよりも辛かった。羽田空港健康管理センターから毎日、ビデオで電話がかかってくるのだ。それも、AIが電話をかけているので、いつかかってくるかわからない。かかってきたら、家にいることが分かるように、背景と共に、30秒間撮影される。家にいなければならぬストレスからか、带状疱疹になってしまった。幸い気づくのが早く、治りも早かったのによかったけれど、この2週間外出禁止が、私にとっては最もハードルが高かったかもしれない。

My daughter living in NY asked me to visit her to look after her 1st-grade-son in May 2021. Students have long summer vacation, more than three months in the US. My grandson joins various summer camps but his mother couldn't find anyone to take care of him the last two weeks in August.

Visiting NY may be all right, after getting back to Japan it might be so troublesome and uneasy due to Covid 19. I may have got infection, plus I can't use public transportation from Tokyo Haneda airport where is 350 km away from my house. There are three choices ① taking taxi ② renting a car ③ staying at a hotel in Tokyo for two weeks.

My husband said "Go to NY and take care of him. I will pick you up at Haneda airport." I made up my mind and visited NY as I thought it's once-in-a-lifetime experience seeing 6-year-grandson and staying in NY under Corona pandemic.

I had second vaccination shot in July and PCR test 72 hours ahead of my departure. I left Nagoya for Tokyo and got on board for NY. The immigration in NY was very quiet. Soon I got to my daughter's house in Queens by taxi. I had to stay there for three days and was allowed to go out after getting PCR test.

Almost all passerby put face masks, which I saw for the first time in America. Many restaurants have built temporary outside space on roads to keep social distance. People with two vaccinations are allowed to eat meals inside and not vaccinated others eat outside. Though the number of each group is limited under 4 or 4 people, they seemed to enjoy their meals and have fun.

On main roads I found green colored lanes I had never seen. They are exclusive lanes for bikers and kickboarders. Many people stay away from subways being afraid of infections. I was surprised bikers and kickboarders run so fast. NY city made bicycle racks every about 20~ 30 meters, which people have wanted to set up since way back. The municipal office moved up the installation in Covid pandemic.

Roads around big Forest Hills park are opened for bikers and closed traffics. During rock-downs many residents enjoyed bicycling there.

The Covid 19 pandemic took a heavy toll of lives in the US but unlike Japanese they don't seem to be in a state of gloomy depression. Temporary outside table by restaurants, new lanes for bikers in city areas and cycling roads in parks, are all new measures to counter Covid 19. These flexible and adequate ways are desirable circumstances for citizens to live as usual.

I had PCR test four times and all were negative. I have come back to Japan safely, which made me relieved. The plane on the way back had only 8 passengers. Crew members were more than that. Coming back home, self quarantine was harder than I had thought. I had video phone call everyday from Haneda Airport Health Control Center. We don't know when we get the phone calls because AI makes a call. When I got a call I had to show the AI that I was at home. AI takes video for 30 seconds. Two weeks staying at home was so stressful that I suffered from herpes. Fortunately a dermatologist made a correct diagnosis in an early stage so I got well soon. This two weeks curfew may have been the most troublesome for me.



5. 国際サーバス会報の紹介

Servas International News Bulletin Vol.21 No.2 + 2021



国際部

国際サーバス会報（2021 年度第 2 号）の各内容を国際部チームが簡単に紹介します。

- P.3 台湾 「Blue Camel の台湾旅物語」 台湾会長 Mei Wang
- ・ 2021 年 6 月 9 日に初の国際オンラインミーティングを開催。60 か国以上を旅している Blue Camel の素晴らしい旅の話聞いた。
- P.4 イタリア 「サイクリングのお誘い」 Mary Lee Behar
- ・ 7 月 29～ 8 月 1 日 国際的な自転車ミーティングを開催。
- 出会い・発見：ピエモンテ州のオクシタン地方にあるストゥーラ溪谷。
- ・ アメリカ 「2021 年度国内会議のお知らせ」 10 月 29 日
- P.5 スイス 「ペンテコステ（聖霊降臨日）」 Gudrun Baumgartner
- ・ イースター（復活祭）から 50 日目に、キリストの弟子たちの上に天から聖霊がくだり、教会が誕生したことを祝う日。その集まりが開かれスイスから 22 名、ドイツから 1 名参加。
- P.7 トルコ 「平和学校のサマーキャンプ」 コーディネーター Mehmet Ates
- ・ アンタキヤ地方で地元の家族と一緒に過ごしましょう。異文化との出会い
 - ・ 友達を作りましょう。2021 年 7 月 10 日から 18 日まで
- P.9 カナダ 「素晴らしいサーバス体験」

3編のうちの一つ Sylvia Krogh さんのコスタリカ体験を紹介します。

・コスタリカのNapoleon Escobarとカナダサーバスの友情

以前サーバスでは、自分たちの国のホストリストは自分たちで作し、各国に配布していた。その時、カナダではカナダのホストリストだけでなく、資金繰りの厳しい国々のホストリスト作成も支援してきた。

夫のAlanと私はコスタリカのホストリストを作り、1995年にコスタリカを訪れた際、ピースセクレタリーのNapoleon Escobarに届けた。その時Napoleonご夫妻から心からのおもてなしを受け、思い出深い旅となった。2001年には、カナダ西部出身の私のいとこ夫妻（BirkとKaren）がハネムーンでコスタリカに滞在中、カレンが急病になり病院に運ばれた。その時、彼はすぐ病院に駆けつけてくれて通訳をしてくれた。お陰で彼女は助かり、無事に退院することができた。又、彼は2001年のタイでのサーバス国際会議でもスペイン語と英語の通訳も務めた。

発展途上国の人たちを支援するために（畑仕事や土地の開墾で使用する）大鎌を作って配る「scytheworks.com」という組織がありますが、エドモントンのサーバストラベラー、ElizabethとChipsは、Napoleonから、コスタリカに行く時に何本かの鎌を持って行ってくれるよう頼まれ、スーツケースに入れて持って行った。国境を越えて“武器”を運んでいるようで不安であったと思うが、彼らはよくやってくれた。その結果、Napoleonとの友情が築けたと思う。これはサーバスを通して芽生えた素晴らしいふれあいと友情のほんの一例だ

P.12 「気候変動の緊急事態」 Jeanne Devine, Brita Schmitz 国際サーバス NY 国連 代表

- ・6月5日は国連が定めた「世界環境デー」で、環境保護に対する意識と行動を促す日。



P.14 「カナダの大火災：気候変動が原因？」 SINB 編集者 Michael Johnson

- ・2021年6月30日、ブリティッシュコロンビアのリトン村で大火事が発生、1,000人以上の住民は退去を余儀なくされ、村のおよそ90%の建物が焼失した。カナダでの最高気温の記録を、49.6°Cをピークに3日続けて更新した翌日だった。

p.15 「環境がかかわる平和と新たな日常」

- ・コンテスト優勝者 Julia Renata Mesquita de Brito ・サーバス・ブラジルは昨年、若者のために「環境と平和：それらは私とどんな関係があるだろうか」をテーマに作文コンテストを実施した。（ハイスクール部門の優勝者の作文を掲載）

p.16 「オンライン国際サーバス臨時総会の投票始まる」 SI 会長 Jonny Sägänger

- ・議案は国際サーバスの国際非政府組織（INGO）化に関するもの。（既に日本サーバス本部会報2021年9月号で長田会長より報告されています）

p.17 「HospEx Summit 2021 に国際サーバス代表が参加」 SI 会長 Jonny Sägänger

- ・5月8日、オンライン会議に参加した。目的は、現在のホスピタリティ [Hospitality Exchange]

ネットワークの間で今後の対話を始め、協力を促進することである。会議には多くの非営利親善団体の代表が集まり、ホスベックス・エコシステムの構築やホスベックスの運営方法について熱心に討議した。HospEx Summit 2021 の議題と録画ビデオは添付のリンクから視聴可能。

pp. 18-21 「2021 年度サーバス加入団体の新役員紹介」

- ・サーバス・バングラデシュ ・サーバス・ジャパン ・サーバス・オーストラリア
- ・サーバス・カザフスタン ・サーバス・ブラジル ・サーバス・ブリテン

それぞれの国の新役員が顔写真を入れて紹介され、Rita Dessauvage, 国際サーバスドルフィンチーム長、サーバス・ベルギー&ルクセンブルグが前任者への感謝と新役員への歓迎のメッセージを贈っています。

pp. 22-25 「追悼」：最近亡くなられた会員の方々への追悼文

- | | |
|---|--------------|
| Ewa Dzierzawska (April 25, 1950 - June 12, 2021) | サーバス・ポーランド |
| Judith Rivadeneira Morales (April 1947-April 2021) | サーバス・ペルー前会長 |
| Judy Shotten (1924-2020) | サーバス・イスラエル |
| Maria do Socorro Aragão Alves (Jan. 1, 1954-May3, 2021) | サーバス・ブラジル副会長 |

＜サーバスポーランドのEwaさんへの追悼文（要約）＞

Ewaさんは、まだポーランドではサーバスが非合法だったころの1981年に入会し、1991年、合法的団体としてのサーバス設立に加わりしました。以来、サーバスポーランドの運営発展において指導的役割を果たし、後進を育ててきました。他国のサーバスとも連絡をとりあい、10年以上の間国際サーバスで開発委員も務めました。熱心で頼もしいだけでなく、優しく、世話好きで、茶目っ気たっぷりのEwaさんは、皆から慕われていました。彼女の家はいつも内外の訪問客に開かれ、まさにサーバスの精神を体現した人でした。Ewaさんと知り合い、友だちと呼ぶことができて幸運でした。 —サーバスポーランド

（世界各地の会員からのメッセージが掲載されています）



p. 26 サーバス各コミュニティ のウェブサイト一覧表

p. 27 奥付

6. あとがきにかえて

N S

コロナ禍が続き、対面の活動が制限されていますが、国内旅行などはそろそろ始められている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は北海道の素晴らしい絶景を紹介していただきましたが、来夏の参考にされてはいかがですか。また今回のSDGsの実践は東海北陸支部の会員で実際に保育園を運営されている園長先生からの投稿です。子どもたちの生き生きした様子を見るとなぜかほっといたしますね。子どもたちの将来のためにもひとりひとりのSDGsの実践が望まれます。皆さんの実践などもお寄せください。

アメリカでのコロナ事情をバイリンガルで報告していただいた小田さん、無事に帰ってこられてほっとしたもの、一番しんどかったのは日本での自主隔離だったという文に、なるほどと変な納得をしました。コロナ禍でのアメリカと日本の事情の原稿は貴重な記録になりますね。

東アジア zoom 交流会は日本サーバスから 16 人、世界から 100 人以上が参加し、交流を楽しみました。第 2 回も参加予定していただければ幸いです。

最後までお読みいただきありがとうございました。もうあと少しで 2021 年も終わろうとしています。皆様には大変お世話になりました。来年こそは良い年でありますように。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

．．．